

令和2年7月期 中間決算短信 (令和1年7月17日～令和2年1月16日)

令和2年2月21日
上場取引所 東証

ファンド名 MAXIS トピックス・コア30上場投信
 コード番号 1344
 連動対象指標 TOPIX Core 30
 主要投資資産 株式
 売買単位 10口
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 松田 通
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 宇野 誠朗 TEL (03)6250-4910

半期報告書提出予定日 令和2年4月15日

I ファンドの運用状況

1. 令和2年1月中間期の運用状況 (令和1年7月17日～令和2年1月16日)

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和2年1月中間期	683	(94.8)	37	(5.2)	721	(100.0)
令和1年7月期	758	(97.2)	21	(2.8)	779	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
令和2年1月中間期	1,127	—	195	931

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末発行済口数)×100)
	百万円	百万円	百万円	円
令和2年1月中間期	723	1	721	77,487
令和1年7月期	801	22	779	69,188

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 中間財務諸表等

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第11期 [令和1年7月16日現在]	第12期中間計算期間末 [令和2年1月16日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	40,639,616	36,569,894
株式	758,018,290	683,829,000
派生商品評価勘定	427,588	587,590
未収入金	361,536	-
未収配当金	1,343,900	1,079,900
差入委託証拠金	1,189,000	1,034,000
流動資産合計	801,979,930	723,100,384
資産合計	801,979,930	723,100,384
負債の部		
流動負債		
前受金	1,066,020	634,700
未払収益分配金	20,173,353	-
未払受託者報酬	211,519	204,009
未払委託者報酬	592,188	571,161
未払利息	88	34
その他未払費用	185,130	101,284
流動負債合計	22,228,298	1,511,188
負債合計	22,228,298	1,511,188
純資産の部		
元本等		
元本	764,108,034	631,376,652
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金(△)	15,643,598	90,212,544
(分配準備積立金)	73,390	73,390
元本等合計	779,751,632	721,589,196
純資産合計	779,751,632	721,589,196
負債純資産合計	801,979,930	723,100,384

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第11期中間計算期間 自 平成30年7月17日 至 平成31年1月16日	第12期中間計算期間 自 令和1年7月17日 至 令和2年1月16日
営業収益		
受取配当金	11,224,846	10,498,275
受取利息	40	91
有価証券売買等損益	△73,220,060	69,398,877
派生商品取引等損益	△3,791,352	3,705,910
その他収益	325	245
営業収益合計	△65,786,201	83,603,398
営業費用		
支払利息	12,122	6,891
受託者報酬	270,614	204,009
委託者報酬	757,658	571,161
その他費用	263,565	191,093
営業費用合計	1,303,959	973,154
営業利益又は営業損失(△)	△67,090,160	82,630,244
経常利益又は経常損失(△)	△67,090,160	82,630,244
中間純利益又は中間純損失(△)	△67,090,160	82,630,244
一部交換に伴う中間純利益金額の分配額又は一部交換に伴う中間純損失金額の分配額(△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金(△)	127,849,970	15,643,598
剰余金減少額又は欠損金増加額	63,302,370	8,061,298
中間一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	63,302,370	8,061,298
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金(△)	△2,542,560	90,212,544

(3)【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(中間貸借対照表に関する注記)

	第11期 [令和1年7月16日現在]	第12期中間計算期間末 [令和2年1月16日現在]
1. 期首元本額	1,420,022,184円	764,108,034円
期中追加設定元本額	—円	—円
期中一部交換元本額	655,914,150円	132,731,382円
2. 受益権の総数	1,127,003口	931,234口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

第11期中間計算期間 自平成30年7月17日 至平成31年1月16日	第12期中間計算期間 自令和1年7月17日 至令和2年1月16日
1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。	1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	第11期 [令和1年7月16日現在]	第12期中間計算期間末 [令和2年1月16日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

第11期 [令和1年7月16日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	21,306,980	—	21,735,000	428,020
合計		21,306,980	—	21,735,000	428,020

第12期中間計算期間末 [令和2年1月16日現在]

区分	種類	契約額等 (円)		時価 (円)	評価損益 (円)
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	37,059,300	—	37,647,000	587,700
合計		37,059,300	—	37,647,000	587,700

(注) 時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報)

	第11期 [令和1年7月16日現在]	第12期中間計算期間末 [令和2年1月16日現在]
1口当たり純資産額	691.88円	774.87円
(100口当たり純資産額)	(69,188円)	(77,487円)